

富山県 中央植物園だより



シロバナヒガンバナ *Lycoris × albiflora* Koidz. (ヒガンバナ科)

ヒガンバナとショウキズイセンの自然交雑種であると考えられています。ヒガンバナよりやや大ぶりで、白い花に薄いクリーム色やピンク色の筋が入ります。植物園では9月中～下旬頃に見頃となり、白い花が木漏れ日を反射して幻想的な美しさを醸し出します。 第24回私の植物写真展「木漏れ日の舞」撮影/竹本 正さん

Report イベント報告「環境省アクティブ・レンジャー写真展」「ゲッカビジン観賞」

Topic 植物園裏話「園芸植物の多様性を楽しむ！ 鉢物展示場」

News 園内ニュース「パラグアイオニバスの群生にオオオニバスが仲間入り」

Events 今後の注目イベント「秋季さつき・盆栽展」
「秋のラン展」

Note 園内さんぽ「園内にキツネ?!」

Report イベント報告

環境省アクティブ・レンジャー写真展

6月24日～7月20日に、「環境省アクティブ・レンジャー写真展」を開催しました。アクティブ・レンジャーとは、環境省の自然保護官の補佐として、国立公園のパトロールや登山道整備などを行う職員です。サンライトホールには、上信越高原、妙高戸隠連山、中部山岳の3つの国立公園で活躍するアクティブ・



会場の様子

レンジャーの方が撮影した写真40枚が展示されました。そこには、雄大な景色ばかりではなく、時に過酷な環境でのアクティブ・レンジャーの仕様の様子が収められています。来園者の方には、自然の美しさと厳しさ、環境保全と安全登山のために活動して下さっているアクティブ・レンジャーのお仕事のことを知って頂けたのではないかと思います。



国立公園の紹介ビデオもありました

(和久井彬実)

夜間開園 ゲッカビジン観賞

今年のゲッカビジン観賞は、7月2日、3日に開催しました。昨年は蕾の数が少なく中止したため、2年ぶりの開催です。6月11日に多くの花芽を確認しましたが、その後の低温、さらにそれに続く猛暑で蕾の成長速度が変わり、毎日やきもきさせられました。やっと開催日を決定するも、1日目は夕方になっても開花が



闇に映えるゲッカビジンの花

なかなか進みませんでした。高温が原因と考えられたため、2日目は開花予想株を朝から冷房にあてて対策しました。結果、開花時間を早めることができ、午後7時からほぼ満開になった株もありました。電話でご案内した友の会の方、HP等の広報で開催を知った方が多く来園し、一晩しか咲かない美しい花を楽しんでいられました。



ゲッカビジンを観賞する来園者

(吉田めぐみ)

Topic 植物園裏話

園芸植物の多様性を楽しむ！ 鉢物展示場

入園口のすぐ右側に、一見自転車駐輪場のような外観の鉄骨の建物があります。ここは様々な園芸植物の栽培品種を鉢植えで展示する「鉢物展示場」で、季節ごとにテーマを変えながら展示を行っています。今年はスイセンやサクラソウ、イギリスで育成されたバラ、ギボウシの展示を行ってきました。中でもサクラソウ（日本桜草）は日本固有の古典園芸植物で、江戸時代から品種改良が行われてきた歴史があります。今回は、埼玉県の川口



「鉢物展示場」のサクラソウの展示（2022年5月）

市立グリーンセンターから分譲を受けた約200品種を展示し、愛らしい姿が来園者の人気を集めました。鉢物展示場で意識して頂きたいのは「植物が持つ多様性」です。最近では「多様性」という言葉をよく耳にしますが、栽培植物はその意味を最も分かりやすく実感できる例ではないでしょうか。例えば前述のサクラソウの栽培品種はたった1種の野生種から育成されたものですが、花の色や形は変化に富んでいて、その多様性に驚かされると同時に「みんなちがって、みんないい」という金子みすゞの詩の一節を実感します。データがはっきりしている植物については、ラベルに品種名の由来や誕生した年、育成者、受賞歴などに関する情報を表示していますのでぜひこちらも注目してみてください。各品種の魅力をより詳しく知っていただけたと思います。



品種のラベル例。品種名のほか、その由来や育成履歴などを表示しています

(大原隆明)

News 園内ニュース

パラグアイオニバスの群生にオオオニバスが仲間入り

巨大な葉を水面に浮かべるスイレン科オオオニバス属には、パラグアイオニバスとオオオニバス、2022年にボリビアで発見されたビクトリア・ボリビアナの3種が知られています。富山県中央植物園では、2007年にパラグアイオニバスの栽培方法を確立して以来、北池のパラグアイオニバスの群生は夏の風物詩となっています。2021年、パラグアイオニバスの栽培技術を応用して、オオオニバスの栽培に成功し、北池に1株のオオオニバスが仲間入りしました。2種は葉と花に明瞭な違いがあります。立ち上がった葉の縁はパラグアイオニバスが薄緑色、オオオニバスは赤褐色で、がく片はパラグア

イオニバスは平滑ですが、オオオニバスでは鋭いトゲが密生しています。

花はどちらも夜咲きで、1日目は純白ですが、2日目はパラグアイオニバスの花卉の基部が薄いピンク色に、オオオニバスは赤紫色に変わります。これらの違いから、群生するパラグアイオニバスの中から1株のオオオニバスを見分けることができます。

(兼本 正)



手前がオオオニバス、奥の群生がパラグアイオニバス

Events 注目イベント

秋季さつき・盆栽展

10月28日(金)～30日(日)

富山卓月会および日本盆栽協会富山支部との共催により、サンライトホールで開催します。サツキや松柏類などの主木となる盆栽に1～2点の添え物を組み合わせた平飾りや、5～6点を組み合わせた棚飾りなど、24作品を展示します。



棚飾りの一例(昨年の展示より)

春の展示ではサツキの鮮やかな花が目立ちましたが、秋の展示は紅葉したカエデ類やマユミ、実をつけたピラカンサやロウヤガキなどが展示され、季節の趣を味わうことができます。

(高橋一臣)

秋のラン展

11月18日(金)～20日(日)

富山県蘭協会との共催で開催する「秋のラン展」も、今年で16回目となります。秋のラン展の主役といえば、カンランです。シャープな葉の間から長い花茎を伸ばし、香りのある細長い花卉の花を開きます。南日本の各地で選抜品種が作出され、「寒蘭」は東洋ラン園芸の一大ジャンルとなっています。一方、特別展示は洋ランから、カトレヤの歴史で重要な役割を果たした、カトレヤ・ラビアータを取り上げます。20日には栽培講習会も開催します。



土佐寒蘭'金鶏'

20日には栽培講習会も開催します。(早瀬裕也)

Note 園内さんぽ

園内にキツネ?!

植物園では、園内でどのような動物が活動しているかを把握する目的で、1年ほど前から屋外展示園に自動撮影カメラを設置しています。撮影された写真データを整理したところ、なんとキツネが写りこんでいました…!おそらく、キツネは植物園内の



設置された自動撮影カメラ

木の実や、それを食べている昆虫、ネズミ等の小動物を食べていると推測されます。他の写真には、タヌキやネコなどの姿も。開園から約30年、植物園の中で生態系が確立されてきているということでしょうか。運が良ければ園内でキツネとタヌキの化かしあいが見られるかも? (和久井彬実)



写真に写りこんだキツネ

Event Schedule

※新型コロナウイルスの感染状況によって開催内容を変更する場合があります。
※イベント参加には入園料が必要です。高校生以下・70歳以上無料。

企画展

→ 10 19 (水)	特別展 I 桐野秋豊ツバキ資料展 — 八尾が生んだツバキ研究家 会場：サンライトホール
10 21 (金) → 23 (日)	第 55 回富山県おもと展 会場：サンライトホール
10 28 (金) → 30 (日)	秋季さつき・盆栽展 会場：サンライトホール
11 1 (火) → 9 (水)	友の会ポタニカルアート展 会場：サンライトホール
11 11 (金) → 13 (日)	第 5 回サボテン・多肉植物展 会場：サンライトホール
11 18 (金) → 20 (日)	第 16 回秋のラン展 会場：サンライトホール
12 3 (土) → 4 (日)	クリスマスフェア 会場：サンライトホール
12 9 (金) → 21 (水)	花と緑のコンクール入賞作品展 会場：サンライトホール

講演会・講習会・観察会

10 2 (日)	第 30 回 TOYAMA 植物フォーラム 会場：サンライトホール 13:30 ~ 16:00
10 22 (土)・23 (日)	栽培講習会「オモトの栽培と管理」 会場：サンライトホール 14:00 ~ 15:30
11 20 (日)	栽培講習会「ランの栽培と管理」 会場：ドリアスホール 10:30 ~ 12:00・14:00 ~ 15:30
12 4 (日)	植物園でバードウォッチング 会場：北池・南池周辺 9:00 ~ 11:30

月例行事

植物ガイド
第 1, 2, 4, 5 日曜日：ボランティアと歩く植物園
第 3 日曜日：園長と歩く植物園
13:30 ~ 14:00 集合場所：サンライトホール

ポタニックガーデンクラブ

10 16 (日)	多肉植物で楽しい寄せ植えづくり 会場：ドリアスホール 13:30 ~ 15:30
12 11 (日)	ソープカービング 会場：ドリアスホール 13:30 ~ 15:30

※ポタニックガーデンクラブは開催 1 ヶ月前から、電話でお申込みを受付致します。

Information

入園案内

[開園時間] 2月～10月 9:00～17:00 (入園は16:30まで)
11月～1月 9:00～16:30 (入園は16:00まで)
[休園日] 毎週木曜日
4月第1, 2とGW、お盆、祝日の場合は開園
年末年始(12月28日～1月4日)
[入園料] 大人 500円 / 団体(20名以上) 400円
冬期(12月～2月) 一人 300円 / 団体 240円
年間パスポート(購入日より1年間有効) 2,100円
高校生以下・70歳以上は通年無料
[交通案内]
バス：富山地鉄バス JR 富山駅から「ファボーレ経由萩の島循環」または「ファボーレ経由速星行き(休日のみ)」に乗車し、「中央植物園口」下車、徒歩約15分
車：富山市中心部より約15分
北陸自動車道富山 IC より約15分
JR 速星駅より約8分

団体向け学習プログラム

学校の遠足や PTA 活動等でご利用の方向けに、植物園ならではの学習プログラムを提供しています。ご希望日の1週間前までに、学習プログラム申請書と入園料免除申請書をご提出下さい (FAX 可)。人数や時間、ご希望のコースについてはご相談ください。※1 団体につき1つのプログラムに限らせて頂きます。

① オリエンテーリング 植物を探そう
写真と地図をヒントに、園内で植物を探すゲームです。
・対象：年長～小学生
・所要時間：30分～1時間半 (コースによって異なります)

② どんぐり工作
どんぐりや木の実、葉を材料に工作を楽しめます。
・対象：年長～小学生 ・所要時間：2時間

③ ドリアス講座
植物の面白さをスライドでわかりやすく解説します。
・対象：年長～一般 (10種類の講座からお選び頂けます)
・所要時間：30分程度 (講座によって異なります)

富山県中央植物園だより No.105

令和 4 (2022) 年 9 月 25 日発行
編集・発行 / 富山県中央植物園
(指定管理者：公益財団法人 花と緑の銀行)
〒939-2713 富山市婦中町上轡田 42 TEL 076-466-4187



<https://www.bgtyam.org/> 公式 Instagram